

「海外で活躍したい」3割、「仕事上で必要ならば海外で働くこともいとわない」5割

大学生は、「いい友だち」と「お金」をもつことは幸せにつながることでありと認識しているが、「努力すればむくわれる社会」と考える割合（「とても」+「まあそう思う」の%、以下同）は半数に満たず、同様に「いい大学を卒業すると将来幸せになれる」といった学歴の価値を肯定する割合も4割程度にとどまる。それらの傾向に2008年からの大きな変化はみられない。仕事については、「将来、海外で活躍したい」と積極的に考えている学生は34.4%であるが、「仕事上で必要ならば海外で働くこともいとわない」と考える割合は53.8%と約半数に増える。



あなたは次のようなことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。

図44 社会観（経年比較）

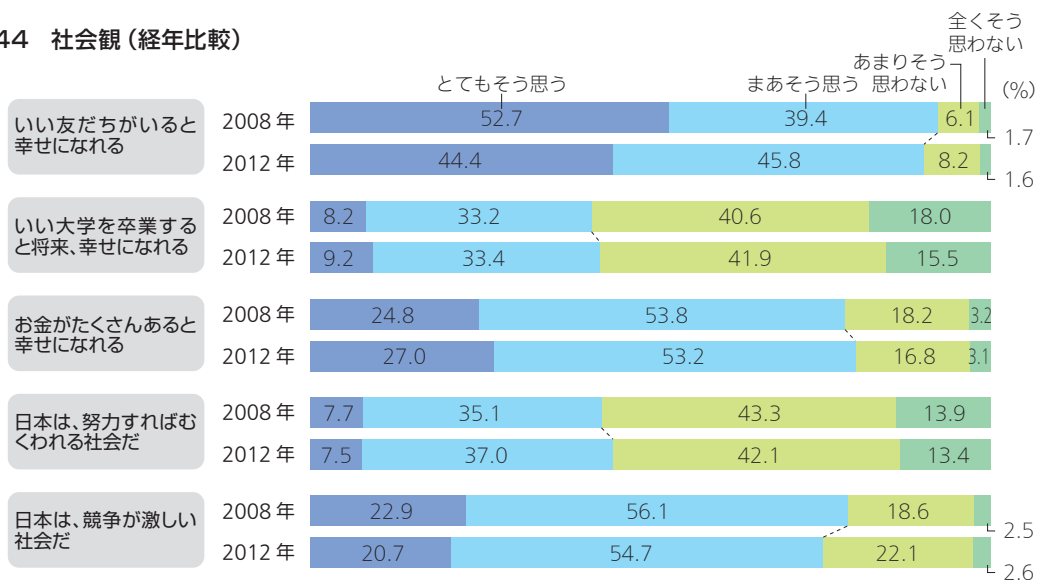
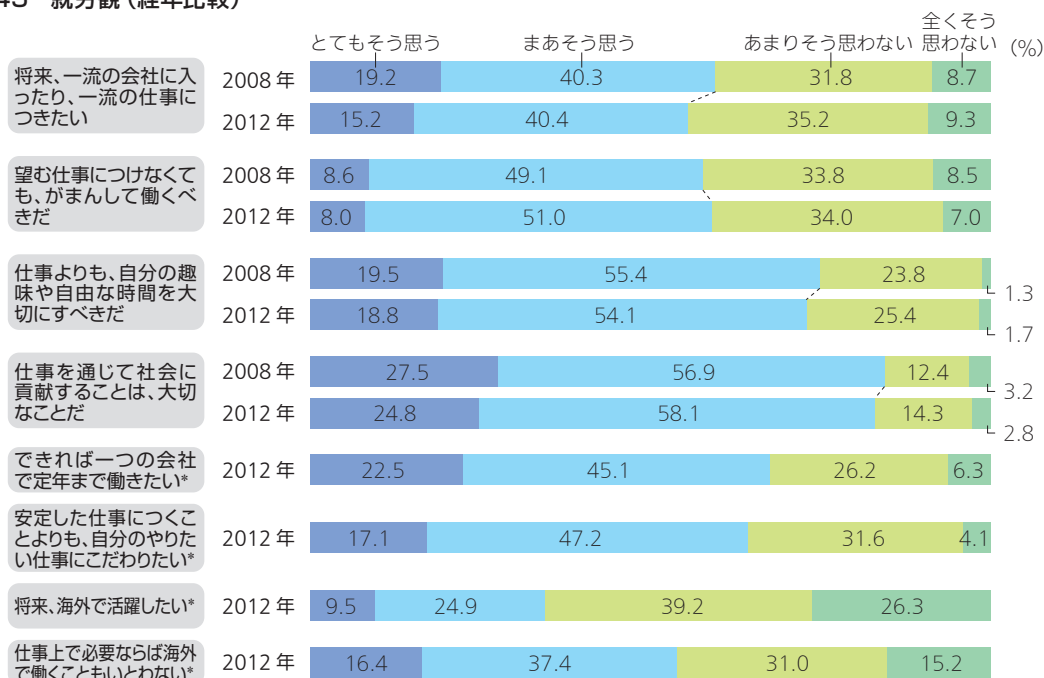


図45 就労観（経年比較）



注1)*の項目は2008年調査ではたずねていない。注2)サンプル数は図44-45とも2008年4,070名、2012年4,911名。